

港中だより

伊勢市立港中学校 No31

R2. 3. 25

校長 金森 晃生

令和元年度修了式 1年間が終わります

令和元年度が終わりました。（3月末日までは今年度です）港中学校では大きな事故もなく、みなさんが無事1年を終えることを嬉しく思います。しかし、3月になって日本中の学校は急遽、これまでにない大規模な臨時休校になりました。一番大切な1年間のまとめの時期に、自宅学習となりました。みなさんの命と健康を守るためには仕方のないことでした。

今日は修了式です。修了式は1年間の学習の教育課程を終えた、という式です。ですから1年に1回しかなく、本来は修了証書を手渡すこととなります。在校生には通知表がその代わりにとなります。しかし、本来学ぶはずのことが今年度は終えることができませんでした。私はみなさんにとって一番大切な「学び」の機会が一部失われたことが大変心配です。家庭学習のための課題もあり、この機会にしっかり復習をしていることとは思いますが…。新年度にしっかり取り戻したいと思います。

さて、みなさんにとってこの1年はどのような1年でしたか。私は忙しくも充実した、あっという間の1年間でした。私の目標は「思いやりの心」をみなさんも私も持ち続けることでした。私はある程度達成できたと感じています。みなさんは心に「思いやりの心」はいつもあったでしょうか。実行できましたか。みなさんが実行できてこそ、私の目標は達成されたこととなります。他にも入学式や始業式など、私が話したことを覚えていますか。

- ・学ぶことを大切にしましょう
- ・思いやりの心を持ちましょう
- ・夢を持ちましょう
- ・目標を持ちましょう
- ・命を大切にしましょう

こんなことをみなさんには伝えてきました。自分で振り返ってください。実行できたこともたくさんあるでしょう。できなかったことは次につなげてください。夢や目標は一人ひとり異なりますが、努力して達成することは同じです。4月からは2年生は義務教育最後の1年。港中学校の最上級生になります。1年生は先輩になり、後輩ができます。新学年のスタートに向けて、目標を立て、1つでも実現できるよう努力してください。みなさんの活躍を期待しています。

～ 保護者のみなさまへ ～

日ごろは本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、令和元年度も本日で終わることとなります。大変慌ただしい最後になりました。ただ、大きな事故などもなく無事に終わることができます。これも保護者のみなさまや、地域のみなさまと連携しながら港中学校の教育活動が行われた結果だと思えます。また、先日は家庭訪問などにもご理解いただき、たいへんありがとうございました。

あくまで予定ですが、4月7日から新しい学年・年度がスタートします。まだまだ新型コロナウイルスの影響が心配されますが、職員一同新たな気持ちで、子どもたちの支援をしていきたいと思えます。これからも港中学校に変わらぬご支援をお願いいたします。

お知らせ

始業式 4月7日(火)
入学式 4月8日(水)

8時 新しい学級発表 生徒昇降口
在校生は休校日(休み)

卒業式が終わりました

13日（金）に令和元年度 第73回卒業証書授与式が行われました。今年度は新型コロナウイルスの影響で卒業生、保護者、教職員だけで式を行いました。また、式歌もなく、時間を短縮しましたが、卒業生にとっては中学校最後の日になりました。その中で、私が卒業生にぜひ伝えたいことを式辞としました。1,2年生のみなさんも読んでみてください。

さて、卒業生のみなさん、私は今日、卒業式ができたこと、このことが何よりもうれしいことです。一人ひとりの顔を見ながら、中学校の教育課程を全て修了した証である、卒業証書を手渡しすることができました。そして、卒業証書を授与された八九名のみなさんの晴れの門出を祝うことができました。心からお祝い申し上げます。卒業生のみなさんおめでとう。

みなさんは今日の門出にあたり、これまでみなさんを支えてくれた、お家の方や友だちや先生をはじめ、多くの人がいたことを覚えておいてください。また、すべての方々に感謝することを忘れないで下さい。そしてこれからは一人ひとりが自分の夢の実現のため、それぞれの道を切り開いてください。港中学校を巣立っていくみなさんに、私から感謝の気持ちを込めて、最後に一つだけ話をしたいと思います。

「思いやりの心」を忘れず、持ち続けてほしいということです。このことはいつもいつもみなさんに伝えてきたことです。これまでの日々の生活の中で、隣の人のことをちょっと意識して、話すことや行動することを考えてきたことでしょうか。自分ならどう感じるだろうと想像したことでしょうか。今世界ではSDGsと言って、地球が遠い未来まで持続するための十七の課題が提案されています。その課題の中に「海や陸の豊かさを守る」「貧困をなくす」などがあります。世界中の人々がその課題解決のために行動しようとして動き出しました。そして、課題解決の基本が「思いやりの心」だと私は思います。普段から私たちが「思いやりの心」を持つことで、平和で差別のない安心して過ごせる社会や地球を実現することができます。当然、「思いやりの心」だけでなく、学ぶことも必要です。今、感染が拡大しているウィルスを退治できるのは、人が研究し薬を開発することです。このように「思いやりの心」を持ち、学び続けることが、社会の役に立ち、危機を救うことになるでしょう。

これからの時代はさらに、科学や技術が進歩し、人工知能などが発達し、私たちの生活はさらに便利になっていくことでしょうか。だからこそ、今まで以上に「思いやりの心」が必要です。誰もが幸せに生き、自分も他の人も大切にできる、そんな社会や地球を造る担い手にみなさんはぜひなってください。

みなさんとはあつという間の二年間でした。修学旅行、部活動、運動会、文化祭など、多くの思い出があります。そして私は何より、毎日、楽しく安心して学校に来ることができました。それは、いつも思いやりの心を持って、明るく元気に登校してくれたみなさんのおかげです。感謝しています。

これからも、仲間を大切にしながら、あせらず一步一步進んでください。そして、できることなら、周りの人に幸せを与えてください。みなさんのさらなる活躍と飛躍を願い、式辞とします。

港中学校を去られる先生方

港中学校での勤務の期間は異なりますが、みなさんがお世話になった先生が本校を去られます。寂しい気持ちもありますが、感謝の気持ちを忘れずにいてください。

先生方、ありがとうございました。

松村 絵里 教頭先生

岡 勝美 先生

二村 公朗 先生

古野 裕司 先生

平賀 美和 先生

大西 理子 先生

平生 勇 先生

岡野 睦佳 先生

中野 邦子 先生

畑中 伸之 先生

井村 直子 事務職員